

農業



平成27年7月号
会誌 No. 1601

目次

巻頭言

津和野のうずめめし……………貝沼 圭二 3

論 壇

大学改革と農学分野の国際交流……………田中 耕司 4

農業懇話会

わが国の大豆栽培の動向と今後の展開方向……………島田 信二 6

－大豆作の安定多収を目指して－

講演…………… 6

質疑応答…………… 23

農事功績者座談会

減化学肥料・農薬による企業的野菜・畑作経営…………… 31

私の経営と農業への思い……………余湖 智 31

現地指導者のコメント……………伊東 智博 40

意見交換…………… 42

研究の最前線

ウンカ類の発生予察と防除対策に関する研究の現状と今後の課題
……………松村 正哉 51

農業・農村の現場から

「女性が拓く農業経営」シリーズ（第8回）

大規模高冷地野菜経営発展のイコールパートナー……………齋藤 京子 61
-長野県佐久市布施（有）小松園芸専務取締役 小松真知子さん-

世界の農業は今

ラオスの農家の副業としてのキノコ栽培への期待……………木村健一郎 68

私の経営と志

楽しさを見つける……………船山 瑛子 73

統計情報

…………… 75
集落営農活動実態調査（平成27年3月1日現在）

農政情報

…………… 76

大日本農会だより…………… 77

編集部から…………… 78

ミニ情報

供給熱量の構成の変化と品目別供給熱量自給率…………… 30

表紙写真説明

オウトウの収穫（青森県三戸郡南部町）

一般的にはサクランボと呼ばれるオウトウの生産量は山形県が圧倒的に多く有名だが、青森県も北海道，山梨県に続き4位の生産県である。東北新幹線・八戸駅から西に車で20分ほどのところに位置する南部町^{なんぶちょう}では6月中旬から7月中旬にかけて，人気の高級品種「佐藤錦」，これより大玉で甘みが強い新品種「紅秀峰」などのサクランボの収穫が盛んに行われる。

南部町は平成18年に名川町^{なんぶまち}，南部町，福地村が合併して誕生した岩手県に隣接する小さな町であるが，青森県内一のサクランボの生産量を誇り，町内の観光果樹園でもぎ取ることができ，県内外から多くの家族連れが訪れる。

青森県といえばリンゴで有名だが，南部町はサクランボ，リンゴだけでなく，モモ，ナシ，ブドウなど多くの種類の果樹の産地で，最近は高級洋梨ゼネラル・レクラークの生産も盛んである。

（編集部）